

平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 静岡ガス株式会社
 コード番号 9543 URL <http://www.shizuokagas.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 戸野谷 宏
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部 (氏名) 中村 暢秀 TEL 054-284-7990
 経理担当マネジャー
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	83,425	△27.0	11,102	3.6	11,530	4.7	7,529	3.9
27年12月期第3四半期	114,300	△8.4	10,713	100.6	11,015	94.3	7,245	125.3

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 7,324百万円 (△8.4%) 27年12月期第3四半期 7,994百万円 (98.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	102.07	101.92
27年12月期第3四半期	98.27	98.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	106,839	78,447	66.5
27年12月期	115,466	73,148	56.5

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 71,063百万円 27年12月期 65,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年12月期	—	6.50	—		
28年12月期(予想)				6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,470	△25.7	9,820	△15.1	10,350	△14.2	6,710	△12.2	90.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。）

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。）

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	76,192,950株	27年12月期	76,192,950株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	2,422,180株	27年12月期	2,464,080株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	73,761,577株	27年12月期3Q	73,728,905株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年8月3日公表の決算短信に記載した平成28年12月期（平成28年1月1日～平成28年12月31日）の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成28年12月期の個別業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,770	△28.7	8,740	△5.8	6,840	△7.9	92.72

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
4. 参考情報	9
ガス販売量(個別)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(平成28年1月～9月)の売上高は、前年同期に比べ27.0%減の834億円となりました。

一方、原料価格下落に伴い原材料費が大きく減少したことから、営業利益は前年同期に比べ3.6%増の111億円、経常利益は4.7%増の115億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3.9%増の75億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

①ガス

ガス販売量は、平成27年10月からの静浜幹線全線稼働による卸販売の増加等により、前年同期に比べ6.1%増の1,095百万m³となりました。

売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整等により、前年同期に比べ30.3%減の701億円となりました。また、原料価格下落に伴い原材料費も減少したことから、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ4.7%増の127億円となりました。

②LPG・その他エネルギー

売上高は、LPG販売でのガス販売単価の低下等により、前年同期に比べ2.1%減の81億円となりました。また、売上原価が原料価格の低下等により減少したことなどから、セグメント利益(営業利益)は17.5%減の4億円となりました。

③その他

売上高は、ほぼ前年同期並みの92億円となりましたが、利益率の高い設備工事が減少したことからセグメント利益(営業利益)は12.4%減の3億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、LNG価格の低下に伴う売掛金や原材料の減少等により、前連結会計年度末に比べ86億円減の1,068億円となりました。

負債は、原料代金決済のタイミングによる買掛金の減少や借入金の返済が進んだことなどにより、前連結会計年度末に比べ139億円減の283億円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ52億円増の784億円となり、自己資本比率は66.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえた結果、通期の業績予想を修正いたしました。

売上高は、前回業績予想時に比べて原料価格が低めに推移することなどから、原料費調整制度に基づく販売単価の下落などにより、前回業績予想を下回る1,084億円となる見通しです。

営業利益は、原料価格の下落による原材料費の減少幅が売上高に比べて大きくなることなどから、前回業績予想を上回る98億円となる見通しです。また、経常利益は前回業績予想を上回る103億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回業績予想を上回る67億円となる見通しです。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	50ドル/bbl (第4四半期)
	今回想定	48ドル/bbl (第4四半期)
為替レート	前回想定	105円/ドル (第4四半期)
	今回想定	104円/ドル (第4四半期)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	13,413	12,044
供給設備	37,100	35,788
業務設備	5,316	5,128
その他の設備	4,110	8,066
建設仮勘定	2,518	1,100
有形固定資産合計	62,458	62,128
無形固定資産	1,069	917
投資その他の資産		
投資有価証券	12,814	11,304
長期貸付金	7,867	7,374
繰延税金資産	404	461
その他投資	1,565	1,585
貸倒引当金	△126	△132
投資その他の資産合計	22,525	20,595
固定資産合計	86,053	83,642
流動資産		
現金及び預金	10,024	10,412
受取手形及び売掛金	10,771	6,535
商品及び製品	276	201
原材料及び貯蔵品	4,952	3,021
繰延税金資産	676	660
その他流動資産	2,750	2,397
貸倒引当金	△40	△29
流動資産合計	29,412	23,197
資産合計	115,466	106,839

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	13,688	11,665
繰延税金負債	690	584
退職給付に係る負債	4,033	3,785
その他固定負債	156	125
固定負債合計	18,569	16,161
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,272	3,829
買掛金	8,084	3,298
未払金	3,845	1,099
未払法人税等	3,166	1,364
賞与引当金	456	1,071
その他流動負債	2,921	1,567
流動負債合計	23,748	12,230
負債合計	42,317	28,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,626	4,653
利益剰余金	50,709	57,317
自己株式	△1,252	△1,230
株主資本合計	60,363	67,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,893	4,245
繰延ヘッジ損益	△39	35
為替換算調整勘定	△180	△429
退職給付に係る調整累計額	186	192
その他の包括利益累計額合計	4,859	4,044
新株予約権	70	79
非支配株主持分	7,854	7,304
純資産合計	73,148	78,447
負債純資産合計	115,466	106,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	114,300	83,425
売上原価	83,783	53,013
売上総利益	30,516	30,411
供給販売費及び一般管理費	19,803	19,309
営業利益	10,713	11,102
営業外収益		
受取利息	119	108
受取配当金	100	103
持分法による投資利益	16	153
雑収入	318	264
営業外収益合計	554	631
営業外費用		
支払利息	222	183
雑支出	30	19
営業外費用合計	252	202
経常利益	11,015	11,530
特別利益		
固定資産売却益	526	—
特別利益合計	526	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	86
特別損失合計	—	86
税金等調整前四半期純利益	11,541	11,443
法人税等	3,558	3,306
四半期純利益	7,982	8,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	736	607
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,245	7,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	7,982	8,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237	△645
繰延ヘッジ損益	△18	74
退職給付に係る調整額	△1	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△206	△248
その他の包括利益合計	11	△812
四半期包括利益	7,994	7,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,256	6,714
非支配株主に係る四半期包括利益	737	610

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	99,675	8,119	107,795	6,505	114,300	—	114,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	878	176	1,055	2,815	3,870	△3,870	—
計	100,553	8,296	108,850	9,320	118,171	△3,870	114,300
セグメント利益	12,169	564	12,734	370	13,104	△2,391	10,713

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,391百万円には、セグメント間取引消去188百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,580百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	69,245	7,963	77,209	6,216	83,425	—	83,425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	861	158	1,020	3,060	4,080	△4,080	—
計	70,106	8,122	78,229	9,276	87,506	△4,080	83,425
セグメント利益	12,743	465	13,208	324	13,533	△2,431	11,102

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△2,431百万円には、セグメント間取引消去179百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,610百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 参考情報

ガス販売量(個別)

		前第3四半期 (27/1~27/9)	当第3四半期 (28/1~28/9)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	315,730	317,329	1,599	0.5
ガス 販 売 量	家庭用	百万m ³	67	65	△2	△3.0
	商業用	〃	27	27	△0	△1.4
	工業用	〃	471	476	4	0.9
	その他用	〃	25	26	1	3.8
	卸供給	〃	430	490	59	13.8
	合計	〃	1,021	1,083	62	6.1
大口販売量		〃	466	469	4	0.8

- (注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。
 2 「お客さま数」には、卸供給先のお客さま数は含みません。
 3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入しております。